

# 平成22年度の事業概況 及び決算について

## I. 事業概況

- 1 新規保証
- 2 無担保保証
- 3 景気対応緊急保証の終了
- 4 業種

## II. 決算

- 1 決算について
- 2 目で見える「収支計算書」と用語解説
- 3 財務諸表

平成 23 年 6 月

各 位

愛知県信用保証協会

## 平成 22 年度事業概況及び決算について

日ごろは、本協会の業務運営に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび平成 22 年度の事業概況及び決算について、次のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

平成 22 年度の保証承諾額は、7,163 億円（前年度対比 77.1%）と前年度を下回りました。年度末においては、景気対応緊急保証終了による駆け込み需要と東日本大震災による先行き不透明感から増加がみられましたが、年度全体では、資金需要の低迷と、既往先に対する返済緩和の条件変更が増加したこともあいまって、結果的に保証承諾が減少したものと思われま

す。保証債務残高については、1 兆 8,421 億円（前年度対比 94.9%）となり、ゆるやかに減少しています。なお、返済緩和の条件変更については、3,062 億円（前年度対比 158.3%）と連続で大幅に増加しました。

一方、代位弁済額は、返済緩和の条件変更が高水準であることから落ち着いた動きをみせ、347 億円（前年度対比 71.0%）と減少しています。

今後も中小企業金融の円滑化を図るため、信頼される取組を積極的に行ってまいりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

（単位 億円，%）

区 分	平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度	
	金 額	前年度対比	金 額	前年度対比	金 額	前年度対比
保証承諾額	11,196	156.2	9,297	83.0	7,163	77.1
保証債務残高	18,270	116.2	19,407	106.2	18,421	94.9
条件変更	870	141.3	1,934	222.3	3,062	158.3
代位弁済額	389	129.8	488	125.6	347	71.0
回収額	32	70.9	38	117.6	33	85.5

※条件変更については、「返済緩和の条件変更」のみの金額

## I. 事業概況

主な状況を概観します。

### 1 新規保証

保証承諾額に占める新規保証の割合は低下傾向にあり、当年度の金額構成比において、4.4%という結果となりました。

(参考：承諾金額構成比 平成20年度6.1%、平成21年度6.3%)

### 2 無担保保証

保証承諾額に占める無担保保証の割合は引き続き大きく、当年度の金額構成比において82.8%あり、前年度同様の結果となりました。

### 3 景気対応緊急保証の終了

#### (1) 景気対応緊急保証

景気対応緊急保証の保証承諾は、2,829億円で全体における構成比39.5%と大きいですが、前年度対比は62.4%と低下しており、一巡感がみられました。

なお、3月単月では532億円、前年度対比は129.3%となり、年度末での取扱終了に向けた駆け込み利用があったものと思われます。

#### (2) 愛知県融資制度保証

景気対応緊急保証に関連した、経済環境適応資金 セーフティネット資金についても、保証承諾2,198億円、前年度対比60.7%、3月単月では400億円、前年度対比123.5%とほぼ同様の動きとなりました。

### 4 業種

#### (1) 保証承諾動向

業種別の保証承諾は、ほとんどの業種において前年を下回る結果となりました。

なお、成長分野である医療・福祉は、前年度対比103%と上回り、一方、製造業は、窯業、機械、電気機器などが低下しています。

#### (2) 代位弁済動向

業種別の代位弁済では、製造業の代弁金額が、対前年度対比55.9%と減少しています。

一方で、物品賃貸業、宿泊業、廃棄物処理業が前年の代弁金額を上回ると

ともに、代弁率も高水準にあります。建設業、飲食店などの代弁率も依然として高水準です。

## II. 決算

### 1 決算について

#### (1) 経常収入

経常収入は、前年度比 7 億円増加の 223 億円となりました。

協会の主な収入である保証料は、保証債務残高に概ね比例するもので、保証債務残高の減少に応じたものとなり、前年度比 9 億円減少の 182 億円となりました。

#### (2) 経常支出

経常支出は、前年度比 4 億円減少の 128 億円となりました。

主なものは、日本政策金融公庫への信用保険料が 84 億円、協会の運営に必要な業務費が 45 億円です。

#### (3) 経常外収入

経常外収入は、前年度比 54 億円減少の 502 億円となりました。

求償権補てん金戻入は 294 億円で、金融機関への代位弁済金の支払いに伴う日本政策金融公庫からの保険金が、前年度比 98 億円減少の 257 億円、損失補償補てん金は前年度比 24 億円増加の 37 億円となりました。

#### (4) 経常外支出

経常外支出は、前年度比 94 億円減少の 528 億円となりました。

求償権償却は、前年度比 90 億円減少の 331 億円。また、代位弁済に備えて保証債務残高の一定割合を積み立てている責任準備金の繰入額は、前年度比 7 億円減少の 112 億円となりました。

なお、求償権償却準備金の繰入額は、前年度比 3 億円増加の 85 億円です。

#### (5) 収支差額

以上により収支差額は、経常収支差額に経常外収支差額を加算した 67 億円に、制度改革促進基金(注 1)の合計 2 億円を加え、合計 69 億円となりました。この 69 億円について、収支差額変動準備金(注 2)に 34 億円を、残額を基本財産に繰り入れ、更なる対外信用の維持、業務運営の安定化を図ることとしました。平成 22 年度末で、収支差額変動準備金の残高は 223 億円となり、基本財産は 811 億円です。

(注1) 制度改革促進基金は、部分保証制度による保証を行い、代位弁済となった場合、保険金や損失補償金等を控除し、なお発生する損失に対し取崩し処理するための基金です。

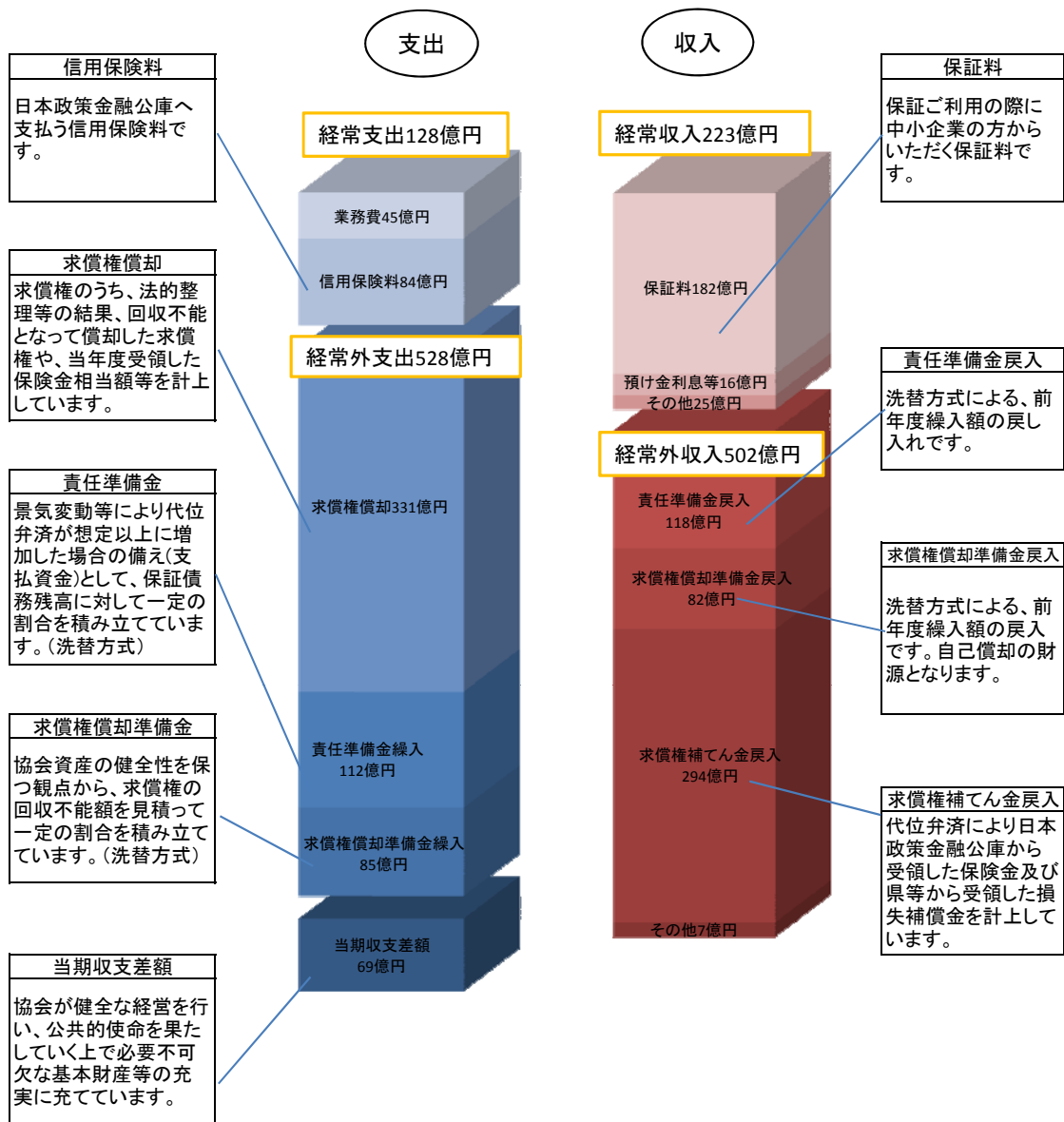
(注2) 収支差額変動準備金は、収支差額に欠損が生じた場合や、保証債務の急速な増加により基本財産の増強が必要になった場合に、これを取り崩して協会経営の安定を図ります。

(注3) 金額は、原則として億円単位での概数表示としています。

2 目で見える「収支計算書」と用語解説  
別紙のとおり

3 財務諸表  
別紙のとおり

## 2 目で見る「収支計算書」と用語解説



### 3 財務諸表

(1) 収支計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日まで)

(単位:円)

支出の部	
科目	金額
経常支出	
業務費	4,465,402,450
借入金利息	0
信用保険料	8,381,495,434
雑支出	1,288,972
経常支出合計	12,848,186,856
経常収支差額	9,431,357,960
経常外支出	
求償権償却	33,119,140,636
雑勘定償却	8,478,855
退職金	7,072,870
責任準備金繰入	11,178,340,786
求償権償却準備金繰入	8,510,885,086
その他支出 他	4,577,597
経常外支出合計	52,828,495,830
経常外収支差額	▲ 2,666,152,193
制度改革促進基金取崩額	165,845,448
収支差額変動準備金取崩額	0
当期収支差額	6,931,051,215
収支差額変動準備金繰入額	3,465,525,607
基本財産繰入額	3,465,525,608

収入の部	
科目	金額
経常収入	
保証料	18,162,155,543
預け金利息	73,797,234
有価証券利息・配当金	1,508,036,805
延滞保証料	27,314,728
損害金	175,011,575
事務補助金	0
責任共有負担金	2,069,826,000
雑収入	263,402,931
経常収入合計	22,279,544,816
経常外収入	
償却求償権回収金	749,776,243
責任準備金戻入	11,831,291,839
求償権償却準備金戻入	8,229,247,030
求償権補てん金戻入	29,352,028,525
保険金	25,627,965,333
損失補償補てん金	3,724,063,192
その他収入	0
経常外収入合計	50,162,343,637

(2) 貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位:円)

借方	
科目	金額
現金	547,510
預け金	51,704,245,870
有価証券	111,303,672,268
その他有価証券	0
動産・不動産	9,268,244,470
損失補償金見返	25,200,320,166
保証債務見返	1,842,132,542,744
求償権	17,881,406,119
譲受債権	0
雑勘定	4,764,363,162
未収利息	264,583,483
未経過保険料	3,917,335,764
その他	582,443,915
合計	2,062,255,342,309

貸方	
科目	金額
基本財産	81,149,162,231
基金	4,728,373,000
基金準備金	76,420,789,231
制度改革促進基金	246,284,699
収支差額変動準備金	22,340,987,039
責任準備金	11,178,340,786
求償権償却準備金	8,510,885,086
退職給与引当金	2,714,136,307
損失補償金	30,494,232,398
保証債務	1,842,132,542,744
求償権補てん金	0
借入金	15,000,000,000
長期借入金	15,000,000,000
短期借入金	0
雑勘定	48,488,771,019
仮受金	24,527,738
保険納付金	612,203,247
損失補償納付金	28,131,544
未経過保証料	47,795,706,177
未払保険料	10,737,888
未払費用	17,464,425
合計	2,062,255,342,309

## (3) 財産目録 (平成23年3月31日現在)

(単位:円)

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	547,510	責任準備金	11,178,340,786
預け金	51,704,245,870	求償権償却準備金	8,510,885,086
金銭信託	0	退職給与引当金	2,714,136,307
有価証券	111,303,672,268	損失補償金	30,494,232,398
その他有価証券	0	保証債務	1,842,132,542,744
動産・不動産	9,268,244,470	求償権補てん金	0
損失補償金見返	25,200,320,166	借入金	15,000,000,000
保証債務見返	1,842,132,542,744	雑勘定	48,488,771,019
求償権	17,881,406,119		
譲受債権	0		
雑勘定	4,764,363,162		
合計	2,062,255,342,309	合計	1,958,518,908,340
		正味財産	103,736,433,969